



安企画第8号  
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

安平町長 瀧



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号による標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

（企画課企画調整係）

## 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

### 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策（施策）

●地元で生産された農畜産物や工業団地において製造された製品等を効率的に輸送するためには、新千歳空港や苫小牧港までのアクセス向上や道東方面への交通拠点となる追分町インターチェンジを活かす道路整備が必要

→空港や港などまでのアクセス向上による時間短縮と輸送コストの低減

（国道 234 号の拡幅、道道整備、北海道横断自動車道（夕張～十勝清水間）の建設促進）

●安心・安全なまちづくりのための交通安全対策の充実

→幹線道路の拡幅及び歩道の設置等交通安全対策の推進

（市街地を含めた国道 234 号の 4 車線化、市街地右折レーン整備、追分弥生から安平間の歩道整備）

●救急医療体制確立のための広域ネットワークの強化が不可欠

→アクセス向上による救急患者の搬送時間の短縮と救命率の向上

（国道 234 号の拡幅、道道の整備）

●観光地へのアクセス向上と回遊性を持たせた観光ルートの設定、広域連携（観光）に対応した道路基盤の整備が必要

→幹線道路の拡幅・整備による観光振興と広域連携事業の推進

（国道 234 号の拡幅、道道の整備）

●「歩く」ことをテーマとするウォーキング事業の実施など、合併後の新町の一体感の醸成や広域化した地域事業に対応できる道路基盤の整備が必要

→幹線道路の拡幅及び歩道の設置による地域事業の実施

（市街地を含めた国道 234 号の 4 車線化、追分弥生から安平間の歩道整備）

### 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

●地域住民、企業等が実施団体となり、道路管理者と自治体が協力し道路の緑化や清掃、美化活動を行うことにより、道路をはじめとする地域の景観形成や連帯感の高揚など協働によるまちづくりに資するものであり、維持コストの低減にも繋がるのが期待できる。

### 3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

●定住施策をはじめとする地域の各種施策の基盤となる道路整備については今後も整備が必要であり、その財源の確保が必要である。

●老朽化した橋梁等の維持管理や整備については、住民をはじめ地域が理解・共感ができるような説明とスケジュール管理が必要。